

# 職業能力開発 ジャーナル

Vol. 44

No. 2

2002年

2

●特集●平成13年度  
職業能力開発促進月間  
各都道府県の取組み(1)



# 海外技術協力事情 ⑩

国連パレスチナ難民救済機関 (UNRWA)  
教育局 JICA 個別派遣専門家

久米 篤憲

## 1. はじめに

ヨルダンから「サラム アレイクム」(Salam Al'eiikum・貴方に平和を！)

これは、中東地域で日常頻繁に用いられているアラビア語の挨拶の言葉です。アラブ諸国の人々が「サラム アレイクム」をお互いに言い交わしているというのは素敵なことです。その中東地域の中でイスラエルとパレスチナは五〇年以上にわたって紛争を続け、その結果、多くのパレスチナ難民が発生しました。UNRWAは、そのパレスチナ難民への支援として、三カ国二地域に八施設の職業訓練センターを設置し、運営しています。二国間協力とは異なる援助の現状や直面する問題等を交えて紹介します。

## 2. UNRWA (国連パレスチナ難民救済機関) の概況

### (1) 設立経緯

一九四八年のイスラエル建国とともに第一次中東戦争が勃発し、イスラエルによって追放されたパレスチナ人約七十五万人が難民としてヨルダン、シリア、レバノン、ヨルダン川西岸及びガザ地区の五地域に流出しました。UNRWAは、これら難民の救済を目的として一九四九年の国連総会決議(三〇二―IV)により設立され、翌一九五〇年から活動を開始しています。さらに、一九六七年の第三次中東戦争勃発に際し、イスラエルに占領された西岸等より約三十五万人のパレスチナ人が流出し、新たな難民が発生したことにより、UNRWAの救済事業は拡大しまし

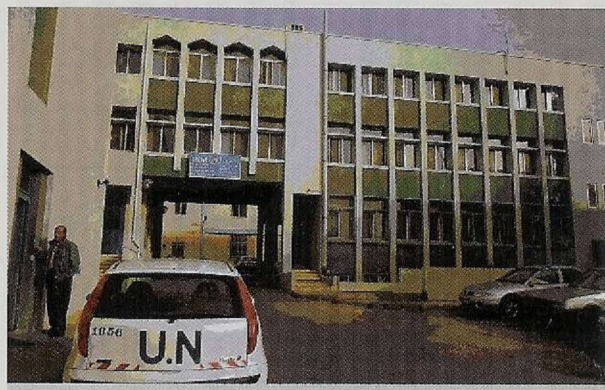
### (2) 活動内容

UNRWAはパレスチナ難民を対象に、教育、医療、保健、救済・福祉活動を実施しています。

①教育・小・中学校及び職業訓練校の運営。教員にはパレスチナ人を雇用しています。

②医療・保健・診療所、母子保健センターの運営。家族計画の指導・実施及び衛生環境向上活動の実施。

③救済・福祉・老人、寡婦、身体障害者等貧困下に置か



UNRWAの正面から

### (3) 機構

れているパレスチナ難民に対する食料及び住居の提供。

本部：ガザ及びアンマン(一九九五年、ウィーンから移転)

職員数：二万一九五四名(前出活動内容の①②③に従事する)

国際職員：一〇九名(うち邦人職員二名・ガザ本部に一名、アンマン本部にJICA専門家一名)(二〇〇〇年六月三〇日現在)

事務局長：ピーター・ハンセン(デンマーク人、国連総会に



アンマン訓練センター 美容・理容訓練実習場



て選出)。

#### (4) 我が国の支援状況

① 支援金の拠出(一九五三年より毎年)。

・一九九九年までの累計拠出金額実績(含む食糧援助)は約四・二一億米ドル。

・二〇〇〇年度の拠出金実績は、現金拠出が一〇〇七万米ドル、食糧援助が八億円。

② UNRWAの活動及び予算審議を監督する諮問委員会への参加(一九七三年より)。

### 3. UNRWAの職業訓練

UNRWAの職業訓練は、教育局管轄の下に実施、運営されています。因みにJICA専門家のカウンターパートは教育局長と技術教育・職業訓練部長です。

#### (1) 教育局組織の概要

① 教育管理部…UNRWA傘下の小・中学校及び職業訓練施設の総括。

② 基礎教育部…五地域に六三九校設置されている小・中学校の管理運営。

③ 教育研究部…小・中学校及び職業訓練施設で用いる教材や教職員の再

設置国 又は地域	施設名 (設置都市)	設立年度	訓練コース数			訓練生 定員
			職業	セミプロ	計	
ヨルダン	Wadi Seer	1960	15	4	19	828
	Amman	1971	1	7	8	404
ヨルダン川 西岸地区 (ウエスト バンク)	Kalandia	1953	13	-	13	432
	Ramallah (男子)	1960	-	7	7	264
	Ramallah (女子)	1962	3	14	17	560
ガザ地区	Gaza	1954	14	8	22	780
シリア	Damascus	1961	13	7	20	788
レバノン	Siblin	1962	13	7	20	648
総訓練生数→						4704

教育等。  
④ 技術教育・職業訓練部…五地域八訓練センターの管理運営。

#### (2) 技術教育・職業訓練部の概要

一九五三年から一九七一年の間に八ヶ所の訓練センターが設立され、パレスチナ難民の雇用促進のために二二種類の職業コース(中卒者対象)と二九種類のセミプロコース(高卒者対象)の合わせて五一種類にも及ぶ多種の職業訓練コースを提供して

います。八訓練センターに勤務する職業訓練指導員は五六九名(二〇〇〇年度)です。

#### 4. JICAによる協力の経緯と実績

JICAによる技術協力として、これまでに一〇名の個別専門家が派遣されています。その内訳は、ヨルダンのワディシール訓練センターに、一九八六年二月から一九八八年四月の間に六名が建設機械、電子、自動車、木工の職種で派遣され、またシリアのダマスカス訓練センターに、一九九五年四月から二〇〇一年四月までに四名が建設機械、電子、木工の分野で派遣されました。

JICAでは専門家の派遣に加え、UNRWAの訓練指導員を対象とした日本国内での研修も実施しています。今年度も「UNRWA特設」と呼ばれる研修コースに各地の訓練センターから一二名の訓練指導員が参加しました。本コースの開設をはじめ訓練センター実習場の改築、機材整備、教材開発等、先達たちが残した実績は大きく、UNRWA内でのJICAの名称は周知されており、その存在は欠くべからざるものになっています。



ワディシール訓練センター 実習風景

#### 5. 専門家業務ごほれ話

##### (1) JICA専門家派遣の背景

平成一二年度にUNRWAからJICAに提出された要請書による援助内容の趣旨は、「時代のニーズに後れをとっている教材開発、カリキュラム、訓練指導法等の見直し、訓練システムの再構築等」となっています。

##### (2) 見えてきた現実

着任後、UNRWAの組織を観察して感じたところを紹介します。

##### ① 職員の勤務環境



UNRWA本部ビルには会議室以外に大部屋が無く、ほとんどの職員が個室で執務しています。私は、大部屋で議論したり、競争したり、ある時は上司や先輩に怒鳴られるといった「人の振り見て我が振り直す」そんな環境で勤務してきました。このような大部屋での業務は、組織の目標に向かっていく勢いやチームワークが持続されず。しかし、ここでは個室がステータスの高さを競っているかのようです。

## ②業務評価機能

UNRWAの職業訓練の実施者は、①教育局長、②職業訓練部長、③訓練施設校長、④職業訓練スペシヤリスト（教育局本部職業訓練部に配属）、⑤主任指導員、⑥学科指導員（一般教養授業担当者）、⑦職業指導員（実技担当者）、⑧その他事務分野職員等から構成されています。訓練運営に関しては、中央指導型の傾向が強く、カリキュラムや教材開発は本部の職業訓練スペシヤリストが担当しています。

これらの職位には学歴主義が反映されていて、訓練指導員の多くはその就業期間を指導員で過ごします。問題は、訓練施設では訓練指導を直接担当する指導員の役割が制限され、組織改善への意見や取組みが評価されにくい状況です。

## ③指導員の高齢化

国境を越えて五地域に点在する八ヶ所の訓練センターでは相互の人事異動が困難で、指導員は同じ訓練施設の同じ訓練コースを長年担当します。ヨルダンのワデイシル訓練センター機械分野の指導員九名を例にとると、二九歳が最年少で、次に若い人が四〇歳代半ば、六名は五〇歳代、その九名の平均年齢が四九歳です。

## ④指導員のサイドビジネス

UNRWA規則では、職員は週八時間以内の副業を許されているようですが、実際は多くの指導員が定められた時間以上働いているのが暗黙の了解だと何人かは公言しています。

## ③専門家業務遂行の手がかり

本稿執筆中に、当ジャーナル一月号が手元に届きました。その一ページの「この一言」に著者の和田幸郎氏は「技能尊重」について次のように書かれています。「功あって賞せざれば、善をも勤めず」という。功績ある者に恩賞を与えなければ、以後、功績を積もうと励む者がなくなってしまう（中略）本人の努力に報いるためにも、また後進の励みのためにもである。賞は、報酬をもってでも、あるいは地位をもってでも

良い。両方ならもっと良い。技能尊重の気運は、これがなければ進むまい。』ベテランの訓練指導員がタイミングよく訓練生を誉めて育てるように、この一節は、「人材育成」そのものの基本です。

直面する問題は、個室勤務、高学歴主義、指導員の高齢化、職員のサイドビジネス等であり、JICA専門家の手に負えるものではないのが一目瞭然です。ましてや運営資金不足も大きな課題です。素晴らしい訓練管理システムやコンセプトだけでは今後の組織改善は望めません。現状では多くの業務指示や情報の伝達は、回覧や資料として各自に配布されてきます。そこにはコミュニケーションもありません。例えば、毎日朝礼を行い、そこで情報伝達を行い、お互いの声かけ運動で「人を賞する」ことができるはずですが、国際職員というステータスを持たないJICA専門家が「新しい風」を送るには、職場における理想的な人間関係の構築と目に見える成果（賞されるに値する功）が重要なようです。

## 6. 最後に

昨年九月一日のアメリカ同時多発テロ事件以降、パレスチナ問題も混乱の度を深めています。この記事



難民キャンプの笑顔

がでる頃には、どのような状況になっているのか、誰にも予想ができないのではないのでしょうか。ヨルダン川西岸とガザ地区をパレスチナとして建国したと仮定して、その後のUNRWAの存在はどうなるのでしょうか？ 現在の八訓練センターのうち、ヨルダン二施設、レバノン、シリアの各一施設に勤務する指導員の処遇は？ 国連の支援から離れて、パレスチナ国の将来は？

UNRWAは今、正に時代の大きな転換期を迎えようとしています。